

第 7 章 産業振興部

第 1 節 商工振興課

〔総括概要〕

令和 3 年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞し、深刻な景気後退を余儀なくされた。長引くコロナ禍において、幾度も繰り返される「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の発令、それに伴う飲食店等の営業時間短縮協力の要請や不要不急の外出・移動の自粛による影響を受け、事業規模や業種を問わず、全国的に景況感の低迷が継続し、特に中小企業者・小規模事業者においては売上げ減少に伴い、事業継続に苦慮する事態となり、今後の収束の見通しが立たず長期化の様相を呈し、日本経済はコロナ危機という未曾有の状況となった。

このような中、本市では「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に掲げた中小企業者・小規模事業者の持続的な発展に効果的な施策の推進に取り組むとともに、コロナ禍により多大な影響を受けた市内中小企業者・小規模事業者を支援するため、市制度融資の要件緩和や利子補給による利用促進を図るとともに、市独自の補助金となる「事業継続応援補助金」「新しい生活様式対応事業所支援補助金」等の補助金を交付するなど、業績が悪化している市内事業者の事業継続及び経営の安定を図ることに積極的に努めた。

併せて、コロナ禍において深刻な影響を受けた市経済の活性化と個人消費の喚起を促進するため、「プレミアム付き商品券」の発行による支援を行った。

また、創業支援として、「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト」を開催し、新規創業や第二創業を志す優秀なビジネスプランへの奨励金の贈呈とともに事業化へ向けた支援に努めた。

工業振興施策については、中小企業等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」の認定を行い、税制支援などの支援措置による生産性向上の推進に努めるとともに、中小企業者の新たな開発意欲の向上及び開発費負担の軽減を図り、地域産業の活性化に資するための補助事業を実施した。また、砂利採取法に基づく認可事務を行うとともに、監視員による定期的な監視活動を実施し、採石場等における事故防止や環境保全に努めた。

労働施策については、勤労者福祉施設の管理運営事業、勤労者への福利厚生の実施を目的とする勤労者福祉サービスセンターの管理運営支援を実施した。市内企業の人材確保のために、例年関係機関等との共催により実施していた対面型の大卒者、中高年者向け就職面接会は、コロナ禍の影響により中止を余儀なくされたが、オンラインを活用した就活イベントを開催した。

1 商業の振興

(1) 栃木市の産業と物産展

本市の産業の発展と物産の普及促進を目的として、本市の誇る生產品や物產品等を商工会議所との共催で企画する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、中止となった。

(2) 商工団体の育成及び助成

商工会議所、各商工会、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

・助成実施状況

(単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所事業費補助金	82,000,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
大平町商工会事業費補助金	63,094,954	8,000,000	地域総合振興事業 等
藤岡町商工会事業費補助金	49,482,209	5,500,000	商工会事業助成
都賀町商工会事業費補助金	60,700,000	5,000,000	商工会事業助成
商工業振興費補助金	1,500,000	800,000	商店の販売促進
西方商工会事業費補助金	34,600,014	4,000,000	商工会事業助成
岩舟町商工会事業費補助金	62,181,000	7,000,000	商工会事業助成
栃木市商店会連合会事業補助金	5,400,000	1,500,000	商店街近代化対策の実施
未成年喫煙防止事業補助金	511,476	180,000	未成年者喫煙防止対策等 (栃木市たばこ組合) (鹿沼たばこ販売協同組合)
	2,780,000	116,000	
青色申告推進事業補助金	2,300,000	30,000	青色申告制度の普及推進
合 計	364,549,653	38,126,000	

(3) 大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき提出された企業の届出に対し、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による意見の集約等を実施した。

届出区分	件数 (件)
法第5条第1項 (新設に関する届出等)	4
法第6条第1項 (変更の届出〔形式的変更〕)	5
法第6条第2項 (変更の届出〔実質的変更〕)	1
法第8条第4項 (市意見)	5

(4) 中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るため「商業の活性化」と「市街地の賑わい出し」等を柱とした各種施策を展開した。特に、市役所周辺の市中心部をより活気あるものにしようと、次の事業を推進及び支援した。

ア 中心市街地活性化支援

栃木商工会議所と大平町商工会が事業主体の中心市街地活性化や賑わいの創出のための各事業への支援を行った。

名 称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業 (栃木商工会議所運営事業費内)	1,500,000 円	事業費助成
産業振興活動支援事業 (富田地区中心市街地商業振興)	200,000 円	事業費助成

イ 中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	会場
人形まつり	5月4日(火)・5日(水)	山車会館前広場
県名発祥の地 「十千木縁日」	中止※	—
蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	中止※	—
第3回蔵の街とちぎ得する ゼミナール	11月1日(月) ～11月30日(火)	栃木市商店会連合会 加盟商店会各所
第15回あそ雛まつり	2月24日(木) ～3月6日(日)	中心市街地一円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗において開業する際に、店舗改装費、家賃、専門家相談費用を補助し、開業及び商店街活性化のための支援を行った。

- ・対象事業 小売業、飲食業及びサービス業（風俗業及び遊戯業等は除く。）
- ・対象区域 栃木地域：蔵の街大通り沿い、銀座通り沿い、ミツワ通り沿い、
嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区日光例幣使
街道沿い、新栃木駅西口県道新栃木停車場線沿い
大平地域：富田地区中心市街地商業振興会エリア
西方地域：金崎商店会エリア
- ・補助内容 店舗改装費の2分の1以内（限度額100万円）
開店後の家賃12か月分の2分の1以内（限度額50万円）
専門家相談費用の2分の1以内（1回の限度額1万6千円を5回
まで）
- ・実績 新規開業：4件
前年度からの家賃継続：1件

(5) プレミアム商品券（とち介商品券）発行事業

ア プレミアム付き商品券の概要

市内の景気回復や消費の活性化を図るため、市内の商工会議所及び商工会によって構成される栃木市商工経済団体連絡協議会が事業主体となりプレミアム付き商品券を発行した。

- ・発行者：栃木市商工経済団体連絡協議会
- ・発行総額：2億8,600万円（プレミアム含む額面）※プレミアム率30%
- ・販売方法：事前申込販売※応募多数により抽選
- ・発行内容：発行部数：44,000冊
1冊13枚綴り（500円券×13枚、6,500円分）を5,000円で販売
内訳：中小店（店舗面積1,000㎡未満）専用券8枚、全店共通券5枚
- ・購入限度：1人4冊まで。通勤・通学者は本人分のみ可
- ・購入資格：18歳以上の栃木市在住者、通勤・通学者
- ・有効期間：12月10日（金）～3月31日（木）
- ・換金総額：2億8,487万3,000円
- ・換金率：99.61%
- ・換金方法：参加店が換金業務指定事業者で使用済商品券を換金する。
- ・換金期間：12月10日（金）～4月14日（木）
- ・換金手数料：参加店が1%を負担。

イ 補助金

名 称	補助額	備考
プレミアム商品券事業補助金	75,500,000円	商品券発行に係るプレミアム分及び事務経費

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当。

(6) オフィス移転等支援補助金交付事業

新型コロナウイルス感染症対策や、事業継続計画により、栃木県内に本社がない会社が栃木市内に本社を移転するか、サテライトオフィス等事務所を新設する場合に、その整備費用の一部を補助することで、市商業の活性化を図った。

- ・補助対象：栃木市内に本社がない会社（株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、（特例）有限会社）で、下記限度区分を該当する者
- ・限度区分及び交付限度額：①栃木市に本社を移転する会社…300万円
②栃木市に事務所を新設する会社…200万円
- ・補助対象経費：設備工事費、改装費、事務所機能に付随する設備の工事費、備品購入費、オフィス開設に伴う宣伝広告費、引越し費用
- ・実績：交付件数 0件

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当。

(7) 先端設備等導入計画に基づく認定事務

生産性向上特別措置法に基づく「導入促進基本計画」を平成30年7月に策定し、市内中小企業が税制支援などの支援措置を受けることができる「先端設備等導入計画」の認定事務を行った。

産業競争力強化法の一部を改正する等の法律の施行により、生産性向上特別措置法が廃止され、先端設備等導入制度関係の規定が中小企業等経営強化法に移管された。

- ・実績 新規認定 34件
変更認定 23件

2 工業の振興

(1) 工場立地法に基づく届出の受理業務

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合について審査・指導した。

なお、工場用地の効率的な活用及び企業立地の促進を図るため、国で公表した準則に代えて適用できる「栃木市工場立地法に基づく準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等を緩和している。

・届出件数 (単位：件)

新 設	変 更	廃 止	承 継	名義変更	計
4	8	-	1	-	13

(2) 砂利採取法・採石法に基づく業務

ア 砂利採取計画認可事務

砂利採取に伴う災害発生の未然防止を図るため、砂利採取法に基づく砂利採取計画の認可事務を進めた。

・認可件数 (単位：件)

山砂利	陸砂利	洗浄施設	計
-	5	-	5

イ 陸砂利採石監視業務

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、公益社団法人栃木市シルバー人材センターに監視業務を委託し、2名の監視員による巡回監視を実施した。

・活動実績 (3月31日現在)

区 分	箇所数
砂利採取法に基づく認可地(砂利採取場)	4
砂利採取法に基づく認可地(洗浄施設)	3
採石法に基づく認可地	12

(3) 大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設(道路、調整池等)の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

ア 大光寺工業団地の概要

総面積：15.2ha、分譲完了：昭和63年9月

立地企業名(事業所名)	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム(株)栃木事業所	名古屋市東区泉1-23-22	大光寺町3487-1	鉄骨系住宅
(株)ムトウユニパック栃木工場	江東区永代1-7-12	大光寺町1313-1	和・洋封筒
旭化学合成(株)栃木工場	板橋区小豆沢1-12-15	大光寺町3487-8	合成接着剤

イ 大光寺工業団地内施設維持管理業務

(ア) 除草業務

公益社団法人栃木市シルバー人材センターへの委託により工業団地進入路及び

調整池の草刈りを実施した。

- ・草刈り 7月、10月、12月

ウ 大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的に清掃等を実施した。

- ・団地内道路、公園等敷地清掃
実施回数 12回

- (4) みずほ企業団地ふれあい協議会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催、市は不参加)

団地内の各企業と地元の三地区(横堀、下高島、上高島)自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決するための話し合いを開催する予定であった。

- (5) 栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業等で本会を設置している。なお、講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

- ・会員企業

(単位：事業所)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
21	8	3	5	5	2	44

3 栃木市大平まちづくり交流センター(プラッツおおひら)の管理運営事業

大平地域の中心市街地に賑わいと活力を創出するためのまちづくり拠点施設として設置した、栃木市大平まちづくり交流センター(プラッツおおひら)の管理運営を指定管理者制度により、株式会社大高商事に委託した。

- (1) まちづくり交流センター利用者総数

営業日数 309日
利用者数 84,085人
1日平均 272人

- (2) まちづくり交流センター施設利用状況

区分	使用時間(時間)	利用者数(人)
多目的ルームA	340	1,325
多目的ルームB	180	360
遮音スタジオ	170	106
交流サロン	375	337

中小企業支援係

1 金融支援

- (1) 市制度融資

ア 中小企業向け資金

市が金融機関に預託を行い、融資限度額及び貸付利率等の融資条件を定めた信用保証協会の保証付融資を設けることで、中小企業者及び小規模企業者の資金繰りの円滑化を支援した。

中小企業向け資金融資預託金(中小企業設備合理化資金、中小企業経営安定資金、小規模企業者資金)として19億7,400万円、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金として10億5,400万円、中小企業創業資金融資預託金として3,300万円を、それぞれ栃木県信用保証協会を介して取扱金融機関に預託し、融資の利用促進を図った。

(7) 中小企業設備合理化資金

中小企業者の設備の合理化を支援するための設備資金。

- ・ 融資限度額 2,000万円
- ・ 返済期間 10年以内(据置き6か月以内)
- ・ 年 利 1.6%(5年以内)
1.9%(7年以内)
2.1%(10年以内)
- ・ 協調倍率 3倍
- ・ 融資状況

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
23件	133,740千円	23件	179,600千円	38件	308,860千円

(イ) 中小企業経営安定資金

中小企業者の経営の安定化を支援するための運転資金。

- ・ 融資限度額 2,000万円
- ・ 返済期間 7年以内(据置き6か月以内)
- ・ 年 利 1.4%(3年以内)
1.6%(5年以内)
1.8%(7年以内)
- ・ 協調倍率 3倍
- ・ 融資状況

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
166件	1,239,300千円	86件	763,800千円	352件	2,584,000千円

(ウ) 小規模企業者資金

特に資金供給が行われにくい小規模企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

- ・ 融資限度額 1,250万円
- ・ 返済期間 5年以内(据置き6か月以内)
- ・ 年 利 1.4%(3年以内)

1.6 % (5年以内)

- ・ 協調倍率 3倍
- ・ 融資状況

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
20件	63,800千円	13件	45,200千円	80件	647,550千円

(エ) 中小企業緊急景気対策特別資金

売上の減少（新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少を含む）が生じている中小企業者、取引金融機関の破綻により資金面から経営上の支障を来している中小企業者の資金調達を支援するための運転資金。

- ・ 融資限度額 売上の減少 1,000万円
取引金融機関破綻、合併等 1,000万円
- ・ 返済期間 5年以内（1年超の場合に据置き6か月以内）
- ・ 年利 1.0 %（1年以内）
1.1 %（3年以内）
1.3 %（5年以内）
- ・ 協調倍率 3倍
- ・ 融資状況

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
86件	567,700千円	281件	1,826,200千円	2件	12,000千円

(オ) 中小企業創業資金

市内で新たに創業する者や事業転換を行う中小企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

- ・ 融資限度額 500万円
- ・ 返済期間 5年以内（1年超の場合に据置き6か月以内）
- ・ 年利 1.6 %（申込人（法人の場合は代表者）が女性又は若者（融資実行時の年齢が40歳未満）である場合は、0.2%引下げ）
- ・ 協調倍率 2倍
- ・ 融資状況

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7件	31,000千円	11件	33,800千円	3件	15,000千円

イ まちづくり資金

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の取扱金融機関である足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店に対し、計300万円を預託した。

(7) 歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、

歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

- ・融資限度額 3,000 万円
- ・返済期間 15 年以内
- ・年 利 2.2 % (5 年以内)
2.4 % (10 年以内)
2.7 % (15 年以内)
- ・協調倍率 3 倍
- ・融資状況 融資実績なし

(イ) 栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

- ・融資限度額 3,000 万円
- ・返済期間 15 年以内
- ・年 利 2.2 % (5 年以内)
2.4 % (10 年以内)
2.7 % (15 年以内)
- ・協調倍率 3 倍
- ・融資状況 融資実績なし

ウ 勤労者向け資金融資

勤労者住宅資金の取扱金融機関である中央労働金庫栃木支店に対し、令和 2 年 12 月末時点の債務残高の補填として 200 万円を預託した。

(7) 勤労者住宅資金

市内在住の中小企業勤労者に、住宅用土地建物購入資金を貸付け、住宅取得促進を図るため、平成 29 年度まで融資申込み受付を実施していたが、市中金利の低下等により、勤労者住宅資金の需要がなくなり、平成 30 年度以降は新規受付を終了した。現在は、償還中の勤労者の債務残高に対し、中央労働金庫栃木支店へ預託を行っている。

- ・融資限度額 2,000 万円
- ・返済期間 35 年以内
- ・年 利 2.5 % (平成 29 年度)
- ・協調倍率 3 倍

(2) 中小企業向け資金融資信用保証料補助金

市制度融資（中小企業向け資金）の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、負担を軽減すると共に、市制度融資利用促進を図った。

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設 備 合 理 化	23	3,300,221	23	1,439,930
経 営 安 定	166	18,513,298	86	△489,653
小 規 模 企 業 者	20	1,406,467	13	54,212
緊 急 景 気 対 策	86	10,571,938	281	38,289,009

創 業	7	699,257	11	664,127
合 計	302	34,491,181	414	39,957,625

(3) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定・危機関連保証認定

取引先の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻、大規模な経済危機等による信用の収縮等により経営の安定に支障を生じている中小企業者に対して、中小企業信用保険法第2条第5項の規定に基づく認定を行った。また、災害等の危機時に、全国・全業種を対象として中小企業信用保険法第2条第6項の規定に基づく認定を行った。

・認定状況

（単位：件）

保険法	適用事項	令和3年度	令和2年度	令和元年度
第5項第1号	連鎖倒産防止	—	—	—
第5項第2号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	—	—	—
第5項第3号	突発的災害（事故等）	—	—	—
第5項第4号	突発的災害（自然災害等）	118	1,213	29
第5項第5号	業況の悪化している業種	9	39	1
第5項第6号	取引金融機関の破綻	—	—	—
第5項第7号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	—	—	—
第5項第8号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	—	—	—
第6項	危機関連保証	47	498	—
合 計		174	1,750	30

(4) 小規模事業者経営改善資金融資制度利子補助金

㈱日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を利用した小規模事業者の借入れ当初の負担軽減と経営の安定化を図るため、当該融資に係る利子の一部を補助した。

- ・補助対象（融資実行日）：平成31（2019）年4月～
- ・補助率：返済利子の2分の1
- ・支援年限：融資実行後2年間
- ・補助上限額：8万円
- ・補助金交付実績

令和3年度		令和2年度		令和元年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
80件	985,800円	165件	2,272,200円	191件	3,147,900円

(5) 新型コロナウイルス感染症対策中小企業緊急資金利子補助金

新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化している中小企業を支援するた

め、市制度融資等の対象融資の利用に伴う利子の一部を令和2年度に引き続き補助した。

- ・補助対象者：次のいずれにも該当する中小企業者
 - ①市内で事業活動を営む者
 - ②令和3年4月1日から令和4年3月31日の間に対象融資を利用した者
 - ③市税に関する徴収金に未納がない者
- ・対象融資：①栃木市緊急景気対策特別資金（新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した者に限る。）
 - ※令和2年度は、下の融資についても対象としていたが、令和3年度に廃止となったことから、令和3年度は②、③は対象外とした。
 - ②栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」
 - ③栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症対策パワーアップ資金」
- ・補助金額：第1回目の利子の支払月の初日から5年間に支払った利子額（栃木県が給付する利子補給金の対象となる利子を除く。）
- ・補助金交付実績

令和3年度		令和2年度	
件数	金額	件数	金額
629件	33,135,860円	251件	9,952,699円

2 中小企業振興事業

(1) 栃木市中小企業・小規模企業振興審議会

平成29年6月に制定した栃木市中小企業・小規模企業の振興に関する条例に基づき、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を計画的かつ総合的に推進するために必要な事項を審議するための組織である栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催した。

ア 委員の構成

- ・学識経験を有する者 1人
 - ・市内中小企業者を代表する者 6人
 - ・関係団体から選出された者 5人
 - ・公募による者 2人
- 合計 14人

イ 会議の開催

期 日	場 所	主な議案等
8月10日 (火)	書面審議（新型コロナウイルス感染症対策のため）	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンに掲げる具体的な取組の検証について ・新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等への市の支援策の実施状況について

(2) 新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組に補助金を交付した。

- ・対象事業 市場における製品と比較し、新規性がある製品・技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
- ・補助内容 補助対象経費の2分の1に相当する額（限度額100万円）
- ・実績 1件（2件の申請があり、審査の結果1件が不交付となった。また、交付1件についても、新型コロナウイルス感染症の影響により製品の開発が思うように進まなかったため、補助金の利用がなく全額戻入された。）

(3) 産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高め、本市における産業の活性化を図ることを目的に、産業財産権の取得費用に対する助成を行った。

- ・対象 産業財産権を取得した中小企業者
- ・対象となる産業財産権 特許権、実用新案権、意匠権、商標権
- ・補助、助成金の内容 特許等取得に対する助成
取得後6か月以内に申請
取得対象費用の2/3とする
(特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする)

・補助実績 (単位：件)

特許権	実用新案権	意匠権	商標権	合計
1	0	0	8	9

(4) 産業振興団体補助

商工関係諸団体の健全な育成と活動を支援し、産業の振興と活性化を図るため、県内産業支援団体へ負担金を支出した。

ア 栃木県産業振興センター負担金

県内産業の振興を目的として、高度技術の開発及び利用の促進、創業や新分野展開など新事業の創出促進、中小企業の経営革新等に関する諸事業を総合的に推進する機関として設置された栃木県産業振興センターへ負担金を支出した。

- ・本市負担金 10,500円

イ ジェトロ栃木情報センター負担金

中小企業等の国際ビジネス展開支援、日本企業の海外ビジネス展開支援など、日本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を行うジェトロ栃木情報センターへ負担金を支出した。

- ・本市負担金 200,000円

3 創業支援

市内において1件でも多くの創業が実現すること、若者や女性等の創業に関する機運を高めることを目的として、ビジネスプランコンテスト2021を開催した。

本市において創業を目指す方や、創業後間もない方等から10件のビジネスプランの

応募があり、新規性や実現可能性等において優秀なプランを表彰するとともに、事業化を支援するための奨励金を贈呈した。

(1) 開催内容

内容	実施日	会場
募集期間	7月1日(木) ～11月2日(火)	
ブラッシュアップセミナー【基礎編】	11月12日(金)	市役所本庁舎 501会議室
書類審査会	11月25日(木)	市役所本庁舎 501会議室
若手経営者との意見交換会	12月6日(月)	栃木商工会議所 大ホール
ブラッシュアップ個別相談会【応用編】	12月20日(月)	市役所本庁舎 302・401会議室
プレゼンテーション審査・過去コンテスト受賞者報告会	1月25日(火)	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室 無観客開催（新型コロナウイルス感染症対策のため）
ステップアップ個別相談会	2月18日(金)	市役所本庁舎 302・401会議室
表彰式	3月28日(月)	市役所本庁舎 402会議室

(2) 表彰・奨励金

- ・最優秀賞（80万円）：松本寿
- ・若者特別賞（30万円）：三田千晶
- ・女性特別賞（30万円）：松島麻美
- ・優秀賞（5万円）：池澤加絵、松本久実子

(3) 審査員

- ・染谷勝彦（企業再建・承継コンサルタント協同組合 組合員）
- ・荒井大（（株）あしぎん総合研究所 代表取締役）
- ・藤井大介（（株）ファーム・アンド・ファーム・カンパニー 代表取締役）
- ・酒井由美（元栃木県中小企業振興審議会委員）
- ・秋間広行（市産業振興部長）

4 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う事業者支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少等の経営課題を抱えている市内事業者を支援するため、各種補助制度を創設し、業績が悪化している事業者の事業継続及び経営の安定を図った。

(1) 緊急事態宣言対応一時支援補助金

- ・補助内容 新型コロナウイルス感染症の影響のため、令和3年1月から3月まで

のいずれかの月の売上高が、前年または前々年同月比 30 パーセント以上減少した市内事業者に対し協力金を支給した。

- ・補助金額 10 万円（定額）
- ・実施状況 70 件 7,000 千円

(2) 新しい生活様式対応事業所支援補助金

- ・補助内容 新型コロナウイルス感染症の影響が長期間にわたっていることから、厚生労働省が示した新しい生活様式に対応するための対策を実施する市内事業者に対し、補助金を交付した。
- ・補助金額 補助対象経費の3分の2に相当する額
- ・補助上限額 30 万円
- ・実施状況 318 件 45,987 千円

(3) 事業継続応援補助金

- ・補助内容 令和3年8月以後に実施された新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置又は緊急事態措置の影響により売上高が減少した市内事業者に対して、補助金を交付した。
- ・補助金額 ①国の月次支援金受給者に係る補助金 15 万円
②県の事業継続支援金受給者に係る補助金 10 万円
③県の営業時間短縮協力金受給者に係る補助金 5 万円
- ・実施状況 620 件 64,400 千円

5 勤労者支援

(1) 勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

ア 事業団体

- ・栃木市勤労者福祉サービスセンター（愛称 ウェルワークとちぎ）
- ・理事長 大川秀子
- ・所在地 入舟町 6-8
- ・会員数 事業所数 436 事業所
従業員数 1,474 人

イ 会議関係

期 日	場 所	内 容
5 月 19 日(水)	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第1回サービスセンター理事会
5 月 27 日(木)	栃木県小山労政事務所	栃木県小山労政事務所管内労働関係機関等連絡会議
7 月 9 日(金)	オンライン	全福センター令和3年度業務運営研修会
9 月 17 日(金)	オンライン	全福センター令和3年度実務研修会

11月12日(金)	オンライン	全福センター令和3年度意見交換会
11月26日(金)	小山市勤労者 福祉会館	第1回栃木・茨城5共済会連絡協議会
1月21日(金)	オンライン	全福センター関東ブロック協議会実務研修会
3月1日(火)	書面会議	第1回全福センター関東ブロック協議会関東V地区運営委員会
3月14日(月)	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第2回サービスセンター理事会

ウ 実施事業

(7) 余暇活動事業

a スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期 日	内 容	場 所	参加人員(人)
5月30日(日)	第15回理事長杯ゴルフコンペ	栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部	20
11月19日(金)	第38回ボウリング大会	サンプラザボウル	40
その他市等の 主催事業助成	藤岡観光農園いも掘り	藤岡町大前地内	17
	おおひら黒大豆オーナー制度助成	大平町北武井・新地内	11
	わたらせ熱気球係留飛行体験助成	藤岡渡良瀬運動公園	2
合 計			90

b 旅行等補助事業

(単位：人)

宿泊施設利用補助	118
提携ツアー利用補助	0
合 計	118

(イ) 余暇施設利用事業

(単位：人)

提 携 施 設 名	利用人数
東武動物公園（東武法人アトラクションパスセット）	220
那須ハイランドパーク	209
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	247
シネマロブレ5（映画館）	1,136
小山温泉「思川」割引利用	116
小山温泉「思川」回数券	7
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	204
栃木市総合運動公園プール	90
宇都宮動物園	411
那須どうぶつ王国	123
スパリゾートハワイアンズ	173

国営ひたち海浜公園プレジャーガーデン	12
観光農園いわふね（フルーツ狩り）	114
合 計	3,062

(ウ) 在職中の生活安定事業

・慶弔給付金 (単位：件)

給付項目	件 数
結 婚 祝 金	10
出 産 祝 金	18
銀 婚 祝 金	3
入 学 祝 金	89
傷 病 休 業 保 険 金	15
疾 病 死 亡 等 保 険 金	3
不慮の事故死亡等保険金	0
死 亡 弔 慰 金	33
合 計	171

(エ) 文化教養健康事業

a 自己啓発事業

(単位：人)

期 日	内 容	場 所	参加人数
12月12日(日)	フラワーアレンジメント教室	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	24
2月20日(日)	森のルームライト作り教室	とちぎ花センター	12
通 年	みかも山公園みどりの相談所講座		23
	NHK学園生涯学習通信講座		0
	栃木市大平文化会館等の各種チケットのあっせん		13
	栃木市民大学等文化教養健康事業助成		3
合 計			75

b 健康の維持増進事業

(単位：人)

事業名	人数
人間ドック・脳ドック助成事業	112
インフルエンザ予防接種受診助成事業	217
歯周病検診助成	4
合 計	333

(オ) 広報宣伝活動（PR活動）

会報誌「ウェルワークとちぎ」（年6回発行）を発行

FMくらら 857 とち介ハッピータウン出演（3回）

(カ) 会員勧誘活動

本庁及び各総合支所書架に会報誌を掲示し、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図った。

タウン誌折込チラシにサービスセンターの紹介を掲載し、新会員の獲得を図った。

栃木商工会議所会報に「ウェルワークとちぎのご案内」折込を依頼した。

FMくらら 857 出演の際、サービスセンターの周知・勧誘を図った。

(キ) その他

会員の誕生日に「バースデープレゼント」、満 20 歳の会員に「はたちのプレゼント」、金婚・珊瑚婚祝を申請した会員に「金婚・珊瑚婚祝品」を贈呈した。

新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けている会員事業所飲食店に対する支援として、クーポン券を発行しサービスセンターより全員に送付した。また、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援として「クオカード」（1,000 円相当）をサービスセンターより全員に送付した。

クリスマスプレゼントとして「こども商品券」（2,000 円相当）を 12 月にサービスセンターより 4 歳児の子がいる会員に送付した。

(2) 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名	称	補助額(円)
第 92 回栃木県メーカー下都賀地区大会補助金		50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内 訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	30,000
	家族ふれあい行事	40,000
	列島クリーン作戦	10,000
	新春の集い	30,000

(3) 就業安定対策

ア 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(ア) 求人情報の提供

ハローワーク栃木求人情報の配布（通年）及びホームページへの掲載

(イ) 会議及び啓発事業

実施日	内 容
11 月	栃木市就業安定対策協議会（書面開催）
11 月 19 日(金)	人権週間における街頭啓発
11 月 26 日(金)	人権啓発資料（パンフレット）送付

イ 就職面接会等の開催

市内事業所における人材の確保と、地元での就職を希望する新規学卒者及び若年者や中高年の求職者等への支援として、関係機関との連携により就職面接会等の就

労支援イベントを開催した。

実施日	内 容	会 場
7月21日(水)	就活応援セミナー・個別相談会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加求職者：2人	市役所本庁舎 401会議室
8月3日(火)	就活個別相談会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加求職者：3人	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 会議室1
1月13日(木)	ミニ就職面接会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加企業：5社 参加求職者：5人	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室
2月18日(金)	とちぎで働こう！2022プロジェクト ケーブルテレビ（株）が主催、栃木市・栃木市商工経済団体連絡協議会が共催 ○オンライン交流会 対象者：栃木市近郊企業に就職を希望する求職者 ・第一部 参加企業：17社 参加求職者：35人 ・第二部 参加企業：9社 参加求職者：13人	オンライン (ZOOM)
2月19日(土)	・第一部 参加企業：9社 参加求職者：21人 ・第二部 参加企業：5社 参加求職者：14人	

(4) 職業訓練支援

技能労働者の養成、確保及び技能水準の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法の規定に基づき栃木県知事の認可を受けて設置されている共同高等産業技術学校に対し補助を行うことにより学校の運営を支援した。

交付先	所在地	金額等
栃木共同高等 産業技術学校	栃木市日ノ出町16番6号 (栃木市技能センター内)	固定額500,000円+(40,000円×市内生徒数1人)=540,000円
鹿沼共同高等 産業技術学校	鹿沼市上石川 1465 番地 4 (鹿沼市職業訓練センター内)	定額 100,000円

(5) 技能顕彰

技能の必要性・重要性の理解を深め、技能水準の向上及び技能者の社会的地位の向上を図り、職業に精進する気運を高めることを目的に、本市在住・在勤の技能検定合格者をホームページへの掲載により顕彰した。

・技能検定合格者 65人

(6) 勤労者総合福祉センター管理運営事業

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託し、各種講座を開講した。

ア 利用状況 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月31日～9月30日は休館

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	屋外イベント	合計
件数(件)	108	103	4	568	58	17	14	0	872
人数(人)	943	1,817	80	15,553	617	198	34	0	19,242

イ 講座、イベント等の状況

(7) 自主講座

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各10回)		平均年齢 (歳)	合計 (人)
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)		
初めての書道	5月10日 ～7月19日	79	/	/	1月17日 ～3月28日	94	68	173
健康体操	5月10日 ～7月12日	308	/	/	1月17日 ～3月28日	327	72	635
筋力アップ	5月10日 ～7月12日	472	/	/	1月17日 ～3月28日	355	66	827
ストレッチ&ヨガ	5月12日 ～7月14日	118	/	/	1月5日 ～3月16日	155	64	273
エアロ★ダンス	5月12日 ～7月14日	184	/	/	1月5日 ～3月16日	112	63	296
リズム体操	5月6日 ～7月8日	421	/	/	1月6日 ～3月10日	411	74	832
イキイキ☆フィットネス	5月7日 ～7月9日	401	/	/	1月7日 ～3月18日	308	70	709
合計		1,983				1,762	68	3,745

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第2期は全講座中止

(イ) 単発講座、イベント

名称	開催日	参加者(人)	名称	開催日	参加者(人)
7月ふるさと婚	7月4日(日)	13	新春お楽しみ講座	1月23日(日)	4

消防訓練	9月27日（水）	5	消防訓練	3月16日（水）	4
12月ふるさと婚	12月5日（日）	8			

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、予定していた9月「出前講座 防災対策講座」、「避難場所で学ぶきんぞうくんの防災講座」、10月「ふるさと婚」、2月「ワークサポート講座」、「家庭の日ファミリースポーツ 卓球・大なわとびに挑戦」、「マヤ暦って?!」、3月「ふれあいパーティー」は中止

(7) 栃木勤労青少年ホーム管理運営事業

ア 登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	169
ホーム利用者数	10,661

イ 年齢層別登録者数（単位：人）

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	2	2	2	35	41
女	1	4	11	5	107	128
合計	1	6	13	7	142	169

ウ 年齢層別利用状況（単位：人）

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	44	1,924	95	2,070	4,133
女	28	97	2,263	178	3,962	6,528
合計	28	141	4,187	273	6,032	10,661

エ 栃木勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
英会話(初級)	15	28	105	月
バドミントン	20	24	136	火
暗闇フィットネス	16	9	47	火
暗闇ボクササイズ	16	15	147	火
スタイリッシュヨガ	20	23	317	水
ソフトバレーボール	20	24	223	水
フラワーアレンジメント	10	3	33	水
ZUMBAフィットネス	20	24	229	木
ピラティス	20	12	107	木
ベリーダンス	20	34	332	金
つまみ細工	10	26	98	金
フラダンス	20	35	479	土
合 計		257	2,253	

(イ) 自立・就職相談事業

・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言

- ・実施回数 63回
- ・延べ相談者数 131人

(ウ) ホーム行事（利用者会事業）等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会場
第6回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月10日(日)	中止※	勤労者体育センター
ウイングとちぎクリスマス会	12月11日(土)	中止※	—
ウイングとちぎフェスタ	3月19日(土)	中止※	—

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(エ) 他ホームとの交流イベント等

行事概要	実施日	参加人数(人)	会場
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	7月17日(土)	33※1	大平勤労青少年ホーム
県ホーム協議会スポーツ交流会	11月7日(日)	中止※2	—

※1 栃木勤労青少年ホーム利用者の参加者数は0人

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(オ) クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
ベリーダンス	月	40	424
GACHI!!!	火	9	45
スポーツパラダイス	水	42	458
ユースネット	木	38	206
HNK	金	36	72
SSO	土	42	756
MBC	土	33	235
MVすずめ	土・日	51	855
ソフラ	土	5	45
南インド古典舞踊と即興ダンス	不定期	514	3,532
合計		810	6,628

(カ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日予定日	参加者数(人)	会場
クリーンアップ婚活	6月27日(日)	中止※	—
スポーツで仲間を作ろう	7月11日(日)	6	勤労者体育センター
素敵な出会いのための「免疫力アップ! ヨガ講座」	2月19日(土)	中止※	—

※参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

(8) 大平勤労青少年ホーム管理運営事業

ア 登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	323
ホーム利用者数	3,953

イ 年齢層別登録者数（単位：人）

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	0	2	1	64	67
女	2	8	14	4	228	256
合計	2	8	16	5	292	323

ウ 年齢層別利用状況（単位：人）

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	1	1	11	18	771	802
女	44	70	56	54	2,927	3,151
合計	45	71	67	72	3,698	3,953

エ 大平勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	15	24	459	月
書道	8	16	158	月
沖縄さんしん	15	0	0	月
リカバリーヨガ	15	24	250	火
ゴルフ	15	20	288	火
テニス	15	25	252	水
着付	8	15	88	水
ヒーリングヨガ	15	22	171	水
英会話	8	15	76	木
ボディケア	15	0	0	木
料理	15	10	32	金
華道	15	15	86	金
ゴスペル	10	15	112	金
ダンスエアロ	15	10	62	金
ハタヨガリラックス	15	0	0	土
リラックスヨガ	15	24	290	土
ダイエットサーキット	15	11	151	木
合 計		246	2,475	

(イ) 自立・就職相談事業

- ・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言
- ・実施回数 26回
- ・延べ相談者数 32人

(ウ) ホーム行事（利用者会事業）等

行 事 概 要	実施日	参加者数(人)	会 場
クリーンアップ大作戦&交流会	6月27日(日)	20	大平勤労青少年ホーム
なっこい模擬店	7月	中止※	大平運動公園
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	7月17日(土)	33	大平勤労青少年ホーム
大平文化祭	10月	中止※	—
クリーンアップホーム祭&クリスマスビンゴ大会	12月5日(日)	23	大平勤労青少年ホーム
バスツアー	3月27日(日)	30	小山市いちごの里

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(エ) 他ホームとの交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	会 場
第6回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月10日(日)	中止※	勤労者体育センター
県ホーム協議会・スポーツ交流会	11月7日(日)	中止※	小山市勤労青少年ホーム
小山勤労青少年ホームクリスマス会	12月	中止※	小山市勤労青少年ホーム
ウイングとちぎクリスマス会	12月11日(土)	中止※	栃木勤労青少年ホーム
ウイングとちぎフェスタ	3月19日(土)	中止※	栃木勤労青少年ホーム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(オ) クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
ズンバクラブ	月	14	144
書道クラブ	月	4	34
クレッセンド	月	17	34
ボディメイクヨガクラブ	火	0	0
ハナミズキ	火	40	173
ターピン	水	0	0
テニスクラブ	水	6	25
リリース	水	37	123
ローズ	木	34	173
着物リメイク	木	19	100
キッズクラブ	木	9	77
料理クラブ	金	0	0
華道クラブ	金	1	4
こでまり	金、月	37	183

三線クラブ	土	0	0
リラックスヨガ	土	7	61
ハッピータイム	不定期	1	3
合 計		226	1,147

(カ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会 場
クリーンアップ婚活	6月27日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム
ホーム祭クリスマスビンゴ婚活	12月5日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム
いちご狩り婚活	3月27日(日)	2	小山市いちごの里

※参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

(9) 勤労者体育センター管理運営事業

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、効率的な管理運営を実施した。

ア 利用状況

(ア) 利用者数 (単位：人)

市内居住者	19,502
市外居住者	527
合 計	20,029

(イ) 月別利用状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内	2,456	2,595	2,494	2,236	0	0	2,175	2,113	2,062	1,846	826	699
市外	88	135	83	135	0	0	39	22	11	5	0	9
合計	2,544	2,730	2,577	2,371	0	0	2,214	2,135	2,073	1,851	826	708

(ウ) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
利用者数	3,097	2,123	2,215	3,246	2,263	2,701	4,384

(エ) 種目別利用状況 (団体利用のみ)

(単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	その他
利用者数	2,583	1,549	3,506	10,339	1,299

イ 利用者交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)
第6回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月10日(日)	中止※
第11回勤労者体育センターソフトバレーボール大会	11月21日(日)	36

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため